

## 令和4年駒ヶ根市教育委員会 第1回定例会 会議録

- 1 告示年月日 令和4年1月14日（金曜日）
- 2 開催年月日 令和4年1月25日（火曜日）
- 3 開催場所 駒ヶ根市役所 保健センター2階 大会議室
- 4 開会時刻 午後4時40分
- 5 閉会時刻 午後5時13分

### 6 議題

#### ○審議案件

議案第1号 駒ヶ根市公立学校教職員組合への回答について

#### ○協議事項

（1）来年度学級編成について

#### ○報告事項

（1）行事共催等承認申請の専決処分について

#### ○その他

（1）市内小中学校の卒業式、入学式への教育委員の出席について

（2）令和4年教育委員会定例会・臨時会の開催日程について

### 7 出席者

教育長 本多 俊 夫

教育長職務代理者 福澤 惣 一

委員 唐澤 浩

委員 木下 健 一

欠席者

委員 氣賀澤 知 保

#### ○委員以外で会議に出席した者

北澤教育次長、赤羽子ども課長、宮下社会教育課長、水野学校教育係長

吉澤教育総務係、馬場教育総務係

#### ○傍聴者：0人（うち報道機関 0人）

## 8 会議のてん末

### 1) 開会宣言 本多教育長 (午後4時40分)

### 2) 教育長報告

○本多教育長 教育長報告ということで、私のほうからお願いいたします。

年が明けてもう1月も3分の2が過ぎてしまっておるところですけれども、今年初めてでありますので年頭の御挨拶をそこへ書かせていただきました。今年もよろしくお願いいたします。(一同「よろしく申し上げます」)

「元日や はげしき風も いさぎよき」と日野草城が書いております。

元日になると新たな志で、子どもは前の年までどんなよたっこをしていても頑張るかなあと思うのですが、3日ぐらいしか持たないかもしれませんけれども、この志を立てるということがうんと大事なことで、子どもなんかはなおさらだろうと、そんなふうに思います。

コロナできゅうきゅうとしているときでありますけれども、こんな気持ちで行きたいなあというふうに思います。

「教育の原点」のところに「ぜんざいには塩がいる」とあります。昔私が読んだ本で、障がい児教育の神様と言われた田村一二さんが今から30年も40年も前にこういうことを書かれているわけですが、現代に通じるとても大事なことがありますので、そこに書かせていただきました。12月の校長会でも一場面に触れております。

「ぜんざい」とはお汁粉のことです。関西のほうでは「ぜんざい」といいます。

幾つか読ませていただいて、ほかのところははしよるようにしたいと思います。

1つ目です。

「子どもも変化しとる、先生も変化しとる、その住む環境も変化しとる、みんな変化しとる、変化しとらんものは何んにもない。これを考えておかんと、教育が硬くなっていく。」

鋭い指摘だなというように思います。

教育の質の向上とかデジタル化には子ども以上に先生のほうの対応が遅れているんじゃないかと、そんなことを言われていますけれども、変わっていくときにはそれなりに対応しなければいけないなど、そんなところがございます。

4つ目でございます。

「ぜんざいには塩がいる」とはどういう意味かと申しますと、「ぜんざいを社会に例えると、塩はちえおくれ、障害のある人。一般社会も、障害のある人たちを邪魔とか足手まといやとかいうて突き放さずに、これを包み込む、溶かし込むことを考えんと、ほんとのよい社会はできん。」ということなんです。

今のまさにコロナ禍でこそ包み込む、溶かし込むというのが大事ななというふうに思います。

その次です。

「先生も、塩を砂糖にするのやないということ、これは親御さんも一緒やが、知ってもらわねばならん。先生の仕事は、塩の中の砂を取り、ごみを取り、にがりをとって、よい塩にすることや。」

終わりから2つ目の丸です。

「一人の子どものために、先生方が、全力を挙げている姿は、他の子どもも見ているはずであ

る。人を愛することの種子は、見ている子どもたちにも、何がしかは蒔かれていく。」

これは、別に教員でなくても、家庭でも地域社会でも同じであるなというふうに思います。後ろ姿で見せるとよく言いますが、まさにこのとおりだなと思います。子どもは本当に大人以上によく見ております。こんなことを見ていたのかというようなことがございます。

参考にしていただければと、そんな思いで書かせていただきました。

次のページでございます。

「先達の教え」の1・2は、もう全く書かれているとおりでございますので、またお読みいただければと思います。

最後の「ちょっと立ち止まって」のところは、やはり田村さんの書いた一節が私のいつも言っている内から育つということにちょっと似ているところがありましたので、そこに書かせていただきました。

「教育とは内から育ってくるのが本態であるのに、それを押さえておいて、きめられたものを子どもの中に注入し記憶させていくのが教育だと思っている先生がおられるのではないか。」これは世間一般もそうではないかと思います。教育は四分六だということであります。教えることが四分、育が六分であると、「四分六教育が本当だ。」ということです。当時、30年も40年も前からそんなことを言われております。

ただ、こうやって私が言いますと、ああ育むほうが大事なのだといって四分六分をゼロ・十と勘違いする人がいます、育めばいいのだろうと。そうではないのです。文科省がゆとり教育と20年前に言ったときにも、「ゆとりと充実」と言ったのにマスコミが「充実」を取ってしまったわけです。ですからちっとも充実しなくて進んでいってしまったわけです。教えることはきちっと教える、育むことが六分であるということで、これが基本であるなというふうに思います。

次の3ページでございます。

これは1月13日の市町村教委連絡会で話された内容です。時間があるときにお読みいただければと思います。

「市町村教委連絡会」とある真ん中から下のところ、「2 コロナによる行事等の対応について」というようなことで、極力情報を得て、精査して、実施の可否を決定する、これを上伊那の中でも話をしたわけですが、もう蔓延防止の俗に言う蔓防が今日決議されて27日から多分実行されるのではないかと思います、そんなふうになると、これもちょっとクエスチョンマークになってまいります。

また、事務方のほうではコロナに本当に毎日毎日対応して、今日もこの会が終わる頃には大忙しになるのではないかと思います、対応しておるのですけれども、本当に3日前に決めたことがもう変更を余儀なくされるというようなことが現実になっております。公の文書で来たものにも、聞き取りをしている段階でもう次の指示を出されて検査する必要なしと、学校はちょっと休ませてくれよという、そんなことまでになってきております。本当に矢継ぎ早で、もう現実が追いついていかないような状況で、厳しい状況かなあと思います。

ただ、高熱が出るのはたった1日だというのがほとんどであります。だから甘く見ろということではなくて、その分、猛威を振るっているなあということで、すぐにうつってしまうのだというようなことでもあります。

また後半でコロナの話が出るかと思えますけれども、またそのところでいろいろ御意見を伺えればありがたいと思います。

本日もよろしく願いいたします。

### 3) 事業報告及び事業計画

○北澤教育次長から、事業報告及び事業計画資料について説明がされた。

〈質疑・意見等なし〉

### 4) 審議案件

#### 議案第1号 駒ヶ根市公立学校教職員組合への回答について

○水野学校教育係長から説明がされた。

〈説明の要旨〉

6ページからになります。

前回の教育委員会で決定したのになります。

校長会でも確認いたしまして、本日この後お渡しする予定だったのですけれども、こういう状況ですので書面で後日お渡しするという事で御了承いただければと思います。

以上です。

○本多教育長が諮り承認。

### 5) 協議事項

#### (1) 来年度学級編成について

○水野学校教育係長から説明がされた。

〈説明の要旨〉

16ページを御覧ください。

これは昨日現在、1月24日現在の児童生徒数・学級数の予定一覧になります。

学年ごとの表になっておりまして、3段に分かれた上が児童生徒数、それから真ん中が特別支援の児童生徒数、下が普通学級数という形になっております。

赤穂小につきましては、一番下のところを見ていただきますと普通学級の児童数が577人、特別支援の児童数が19人で普通学級数が18、知障が2、情障が2という形です。

東小につきましては、児童数が419人、特別支援児童数が13人、普通学級数が13、知障が1、情障が1、院内学級が1です。

南小は、352人、特別支援が15人、普通学級数が12、知障が1、情障が2です。

中沢小につきましては、普通学級児童数が80人、特別支援児童数が4人、普通学級数が6、知障が1、情障が1です。

東伊那小につきましては、普通学級児童数が104人、特別支援が2人、普通学級数が6、知障学級数が1、情障が1という形になっております。

下段が中学校です。

赤穂中学校につきましては、普通学級生徒数が682人、特別支援生徒数が32人、普通学級数が

21、知障が2、情障が3です。

東中につきましては、普通学級生徒数が183人、特別支援生徒数が8人、普通学級数が6、知障が1、情障が1、院内学級が1です。

これが現段階の状況であります。

以上でございます。

〈質疑・意見等の概要〉

○福澤教育長職務代理者 2年生が3クラスから2クラスになったという学校はありますか。赤穂東小だったかな……。

○水野学校教育係長 赤穂東は70名です。1年生から2年生になるときに1クラス減りました。

○福澤教育長職務代理者 まだこれから分からないですね。転入もあったりするわけですよ。

○水野学校教育係長 そうですね。

○福澤教育長職務代理者 その対応というのはできるのですね。

○本多教育長 4月1日まででしたら対応できます。

ただ、そこから急に増えても、学級数は増えますけれど、正規の先生はいただけません。補助の先生にならざるを得ないです。不安定学級と言います。

新5年生になる東小学校に子連れの転勤を望んでいます。

本当にこういう現象はほかでもいろんなところであるわけです。たった1人なのだけれども、これは致し方がないです。

今、赤穂東の話が出ましたけれど、70人ですので2年生と3年生もどきどきなのです。

○福澤教育長職務代理者 これはどこの市町村でもそういう対応をするのですか。

○本多教育長 ごめんなさい。増えれば3クラスになります。

これはどこの市町村も同じです。こういう不安定学級のところは二通り作らなければいけないわけです。2クラスが1クラスというときはいいけれども、2クラスが3クラスになる可能性があるところ、3クラスか2クラスか、そういうようなところなんかは学級編成をこうなった場合あんな場合というのを立てておくというのは本当に厳しいです。

○福澤教育長職務代理者 数字上ではそういうことなのだが、子どもたちはその場に行って3クラスになったり2クラスになったりして変わったりするというところで一番負担がかかるのではないかなあという気がします。これは昔からそういうことではしょうがないですけど、ある程度の幅があってやっていくというわけにはいかないから、そういう人員が要るということですね。

○本多教育長 昔、一時は6年生と中学3年生になる学年は最後なのでわざわざいじるといような状況は気の毒ではないかということがあったのだけれど、今は関係なくなりました。

○福澤教育長職務代理者 分かりました。

○本多教育長 本当にこの時期は、保護者の皆様方もどきどきですけど、学校の先生方も編成というのは本当にどきどきです。困ってしまうということでもあります。

よろしいでしょうか。

こんな状況でございますが、よろしくお願いします。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 協議事項は以上でございます。

## 6) 報告事項

### (1) 行事共催等承認申請の専決処分について

○馬場教育総務係から説明がされた。

〈説明の要旨〉

17 ページをお願いします。

受付番号 3-079 は「駒ヶ根市社会福祉協議会」が行う社会福祉大会で、毎年度後援しているものです。

3-080 は「駒ヶ根太鼓保存会」が行う記念式典で、平成 28 年度にも後援実績があります。

3-081 は「駒ヶ根歌声喫茶実行委員会」が行う歌声喫茶で、平成 30 年度にも後援実績があります。

3-082 は伊那市役所の中にある「日中友好協会伊那地区本部」が行う歌声喫茶で、令和元年度にも後援実績があります。

3-083 は「上伊那小学生バレーボール連盟」が行う小学生のバレーボール大会で、後援実績があります。

3-084 は「日本リーダー育成推進協会」がオンラインで行う無料の講座で、昨年度も後援実績があります。

3-085 は「駒ヶ根ぼっちゃクラブ」が行うボッチャの講習会で、昨年度も後援実績があります。

3-086 は新規の案件ですが、「子供と家族の未来を考える会」がオンラインで行う無料のセミナーで、営利性、政治性、宗教性なしと認められます。

3-087 は「駒ヶ根市スポーツ協会剣道部」が行う少年剣道大会で、毎年度後援しているものです。

3-088 は「きわピアノスクール」が行うピアノコンサートで、毎年度後援しているものです。

説明は以上です。

〈質疑・意見等なし〉

## 7) その他

### (1) 市内小中学校の卒業式、入学式への教育委員の出席について

○水野学校教育係長から説明がされた。

〈説明の要旨〉

18 ページになります。

中段のところにある出席担当割り振り基準に基づきまして割り振りをさせていただいておりますので、御確認をお願いいたします。

よろしければ、このとおりでお願いしたいと思います。

小学校の卒業式は 3 月 16 日の水曜日、中学校は 3 月 17 日の木曜日で、入学式のほうは 4 月 6 日水曜日の午前中が小学校、午後が中学校を予定しております。

○本多教育長 御自身のところを見ていただいて、よろしいでしょうか。

あと、入学式のほうは例年のとおりで回すわけですが、中沢は木下委員さん、東伊那は福澤代理さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

県からの指示で、できるだけ簡素に、留別のほうの環境、送別とか大げさなものは控えるようにという県から指示も出ております。地域のいろんな式典もございますので、必ずしもではありませんが、参考程度にお聞きいただければと思います。

〈質疑・意見等なし〉

## (2) 令和4年教育委員会定例会・臨時会の開催日程について

○馬場教育総務係から説明がされた。

〈説明の要旨〉

19 ページをお願いします。

欄外が一番下に書いてございますように、これまでの例に倣い月末の火曜日を基本にしております。

定例会は御覧のとおりですが、12月と3月だけは1週間早い日程にしております。

あと、臨時会は10月3日、それから3月上旬というふうに予定をしております。

以上でございます。

〈質疑・意見等なし〉

## 8) 閉会宣言 本多教育長 (午後5時13分)

---

駒ヶ根市教育委員会会議規則第25条の規定によりここに署名する。

令和 年 月 日

駒ヶ根市教育委員会

教 育 長

\_\_\_\_\_

教育長職務代理者

\_\_\_\_\_

委 員

\_\_\_\_\_

委 員

\_\_\_\_\_

委 員

\_\_\_\_\_